

予算審査特別委員会

第12号議案・平成21年度白石市一般会計補正予算(第10号)から第25号議案・平成22年度白石市下水道事業会計予算までの計14議案については、定例会第2日目(2月17日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・安藤佳生、副委員長・平間知一)は、2月18日から3月1日までの間で審査した結果、第18号議案については、反対及び賛成の討論があり、表決の結果、賛成多数で、残る議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。

また、定例会最終日に、第26号議案・平成21年度白石市一般会計補正予算(第11号)など5議案が追加提案され、予算審査特別委員会(委員長・山谷 清、副委員長・大町栄信)を設置して審査した結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

平成21年度補正予算

◎第26号議案・平成21年度白石市一般会計補正予算(第11号)

公立刈田病院に関する質疑

〔質疑〕運営費補助を行うのなら改革プランを先に提出するべきではないか。

〔答弁〕刈田病院を支えてい

市民が求めている医療の提供、刈田病院の果たすべき役割などの見直し作業を進めようとしているところである。

〔質疑〕運営費補助を行うにあたり、経営健全化のかなめである増員計画の根拠、期限を明記させるべきではないか。

〔答弁〕医師招聘については、現在の医師25名という数字からまずは、現実を見据えたプランを策定するよう指示を出している。また、健全化については病院としての必要性、重要性、また病院の健全経営も含めて、今後、新たな改革プランで示していきたい。



桜と白石城

〔質疑〕運営費補助を行うことについて市民への説明責任をどう果たすか。

〔答弁〕市主催のわいわいトークを開催したり、広報しろいし等を使いながら説明責任を果たしていきたい。

〔質疑〕改革プランの作成の時期、プロセスについて伺いたい。

〔答弁〕現行の改革プランが平成25年までとなっているが、再度見直しをかけ、すべてを検証したいと思っている。その中で一番大きいのは、医師、病院全スタッフの意見の統一を図る事である。現在、6月までに示せるよう指示している。

〔質疑〕運営費補助を行って、白石市の健全な財政運営はできるのか。

〔答弁〕今回、お認めいただければ財政調整基金から繰り出す事になる。なお今後とも健全な財政を維持するよう努めていきたい。

〔質疑〕患者離れの要因は何か。

〔答弁〕診ていただけるとの診療科が刈田病院にはな

い。患者さんが離れたというよりも、先生が入った事が住民に浸透していなかった。診療科目の先生の異動によって、いろいろな面でのプラス・マイナス要因はあるかと思っている。

〔質疑〕改革プランの見直しに医師の招聘を中心に据えることを改めるなど何らかの方向転換はあるのか。

〔答弁〕医師の招聘を重点課題としていきたい。さらに、職員の補充、経常経費の見直しもしていきたい。

〔質疑〕県の地域医療再生計画との整合性を確保し、県南中核病院との機能分化を図る内容での病院改革プランとなるのか。

〔答弁〕現時点で病院が持つ部分を多めに活かしていくために、人工透析の強化、また、回復期リハビリテーションの充実など、仙南地域で大変不足している部分を担っていく。その上で、2次救急の充実を図りながら病院としての役割を果たしていきたい。

〔質疑〕赤字補てんはいつまでも続かない。先を見通した